

第196回

## ハイキング部だより



令和2年(2020年)2月1日(土)～野間の大ケヤキ

コース:能勢電鉄・妙見口駅～花折街道～ケーブル黒川駅～ありなしの道～  
黒川桜の森～国道477号線～野間の大ケヤキ～  
本滝口バス停 ⇒ (バス) ⇒ 妙見口駅(約8キロ)

参加者 20名

2月1日(土)参加者20名で第196回ハイキングを実施しました。2、3日前までは暖かい日が続きましたが、昨日あたりから例年並みの気候に戻り今日は寒いハイキングとなりました。ゴルフ部の篠原礼次郎さん(高槻在住、高津出身)が、奥さんと一緒に初めて参加してくれました。

10時能勢電鉄「妙見口駅」をスタート。花折街道を進み妙見山ケーブル駅の前を通り、ありなしの道に入り山と田んぼの間の狭い道をさらに進みました。約1時間歩いたところで桜の森に到着、ここで小休止したあと少し坂を登って国道477号線に出て道路脇を約30分歩き「野間の大ケヤキ」に着きました。資料館で説明を聞いたあと大ケヤキの前の広場で昼食(寒かったので資料館に入りコーヒーを飲んでやっと身体が温まりました)、そのあと地元の野菜売り場をのぞき、近くのバス停からバスに乗り「妙見口駅」まで行き解散しました。





野間の大ケヤキ





妙見口駅前



花折街道



ありなしの道



国道477号線から



野間の大ケヤキ



野間の大ケヤキ



けやき資料館内



能勢けやきの里

第196回ハイキングは下記の計画で実施しました



～ 野間の大ケヤキ ～

日 時： 令和2年2月1日(土) 10時 能勢電鉄「妙見口駅」集合

コース：能勢電鉄・妙見口駅～花折街道～ケーブル黒川駅～ありなしの道～  
黒川桜の森～国道477号線～野間の大ケヤキ～  
本滝口バス停 ⇒ (バス) ⇒ 妙見口駅(約8キロ)

野間の大ケヤキは、推定樹齢1000年以上で高さは25mもあり天然記念物に指定されています。ここはかつて蟻無宮(ありなしのみや)の境内にあって、蟻無神社は承久2年(1220年)の創祀、社庭の砂をいただいて畑や屋内に散布すると蟻がいなくなるご利益があるとされていました。

花折街道は川西、一の鳥居から妙見宮への参拝道として開かれ、沿道は寛政年間から明治時代にかけて妙見宮の門前町として栄え歴史的な家屋の面影、雰囲気をとどめており道標、灯籠などが残っています。

